



東日本ユニオンにいがた

JR東日本労働組合新潟地方本部

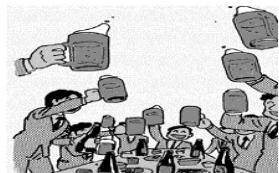
2025年12月10日発行

第23号(通巻第383号)

発行者:星山圭 編集者:組織部

新潟地本エルダー協議会主催

エルダー組合員 忘年会



呑んで／一年を振り返り
新た／年を迎える！

2025年12月20日(土)
17時30分より
会場 新津駅前

新たな組織と働き方について 新幹線統括本部より提案受ける

JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について 提案団体交渉

中央本部は11月20日に
団体交渉を行い、新幹線統括本部より「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の提案を受けました。

◆ ◆ ◆
組織の見直しに伴う業務の再編について統括本部側は、現行の新幹線統括本部における現場第一線の職場の職場と企画部門を融合した組織に見直し、本社事務執行部門に新幹線本部を設置するしました。

具体的には、新潟新幹線運輸区、新潟新幹線車両セ

ンターなど運輸区・車両セ

新幹線本部		融合する現場第一線の職場			
新幹線運輸車両部		新潟新幹線運輸区 新潟新幹線車両センター ほか 計 12 機関			
新幹線設備部		新潟新幹線保線技術センター ほか 計 9 機関			
新幹線電気ネットワーク部		上信越新幹線信号通信技術センター 上信越新幹線電力技術センター ほか 計 6 機関			

		改正				計
		変形等	交代	乗務員		
新幹線運輸車両部	管理	79	16	日勤	泊	95
	一般	391	30	92	131	644
新幹線設備部	管理	44				44
	一般	264				264
新幹線電気ネットワーク部	管理	92				92
	一般	386				386

また、社員の在勤地指定は行わないとして、新幹線のオペレーションを維持しつつ、運転士が企画と検修、検修社員が企画と車掌、企画と車掌で仕事の融合を図っていくと

将来ビジョン実現に向けた組織の見直しにおいて、団体交渉で東日本ユニオンが要求し、会社側と確認した事項が実現しました。

今年の個人面談では、人事ユニットとの面談に加えて、設備ユニットとの面談が実現し、出向社員

が意見や希望を主張できる機会が増えました。今年6月20日に施行された「在来線保線部門の将来ビジョン実現に向けた組織の見直し」において、団体交渉で東日本ユニオンが要求し、会社側と確認した事項が実現しました。

今年の個人面談では、人事ユニットとの面談に加えて、設備ユニットとの面談が実現し、出向社員

が意見や希望を主張できる機会が増えました。

そのため組合側が、JR本体社員・出向社員に関わらず社員の希望や考え方

を聞く体制を強く求める

と支社側は、人事ユニットが立

ち会つて面談を行う方向

になると思うとして、把握

の方法について会社とし

て詰めていかなくてはならぬとする考え方を回答

してきました。

適った取り組みとなつて

いるのか、など、現場で働く労働者の視点で施策の

検証を行つてきます。

在来線保線部門の組織の見直し 団体交渉での確認事項が実現！

今年の個人面談では、これまでの人事ユニットとの面談が実現し、出向社員が意見や希望を主張できる機会が増えました。

施策の実施からもな

いと問題意識を訴えた組合側が、JR本体社員・出向社員に関する面談が実現しました。

そのため組合側が、JR本体社員・出向社員に関わらず社員の希望や考え方

を聞く体制を強く求める

と支社側は、人事ユニットが立

ち会つて面談を行う方向

になると思うとして、把握

の方法について会社とし

て詰めていかなくてはならぬとする考え方を回答

してきました。

適った取り組みとなつて

いるのか、など、現場で働く労働者の視点で施策の

検証を行つてきます。

◆ ◆ ◆
接かかわらない人事ユニットとの面談のみであつたことから、業務内容を踏まえた出向社員の希望や意見が伝わりにくい実態が左右されるべきではな

退職まで安心して働くのに ふさわしい賃金制度とは？ シミュレーションを通じて自分の賃金を知る

酒田地区分会新賃金制度学習会

酒田地区分会は11月7日(金)に、分会事務所にて、「新賃金制度学習会」を開催しました。

新潟地本が作成したシミュレーションツールを

活用し、現行の賃金の計算

ミユレーショントールを開催しました。

新たな賃金制度が提案

されている中で、各種手当

の意味や賃金の成り立ち

を知ることができます。

学習会参加者からは「賃

金の計算や内訳を知ること

ができるよかったです」

とが言えました。

これがも定年退職ま

で安心して働く制度の

実現をめざして、取り組み

を聞くことができました。

自分のがついた」、「自

らが見えてよかったです」

とが言えました。

これからも定年退職ま

で安心して働く制度の

実現をめざして、取り組み

を創り出していく

ます。

</